

# 2026年8月期 第2四半期 決算説明資料

日創グループ株式会社(証券コード:3440)

2026年4月14日

会社情報

■社名	日創グループ株式会社 (英文表記:NISSO GROUP Co., Ltd.)
■代表者	代表取締役社長 石田 徹
■本社	福岡県福岡市南区向野2-10-25
■設立	1983年9月
■資本金	1,190百万円
■セグメント	金属加工、化成品、建設、タイル、その他

グループ経営理念

# 日々創造

グループビジョン

「創る」力で未来に挑む  
企業グループ

## NISSO GROUP (2026年2月末現在)

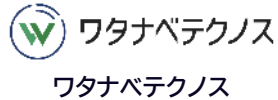
日創プロニティ株式会社  
吾孺ゴム工業株式会社  
日創エンジニアリング株式会社  
綾目精機株式会社  
株式会社ダイリツ  
株式会社ワタナベテクノス

ニッタイ工業株式会社  
株式会社天神製作所  
カナエテ株式会社  
株式会社マルトク  
大鳳株式会社  
フォームテックス株式会社

株式会社泉製作所  
東北クリーンエネルギー02合同会社 他34社  
シキファニチア株式会社(非連結子会社)  
株式会社穴井工務店(非連結子会社)  
日創不動産株式会社(非連結子会社)  
一般社団法人Natural Capital(関連会社)  
GXエナジーソリューション合同会社(関連会社)

## 金属加工

建設、エネルギー、機械設備分野等における各種金属製品の企画・設計・加工・製造・販売



## 化成品

住宅、機械、インフラ分野、輸送機械等における各種ゴム・ウレタン製品・樹脂成型製品の企画・設計・加工・製造・販売



## 建設

内外装パネル工事、太陽光発電設備工事等を中心とした建設工事



## タイル

住宅・ビル外装タイル、内装タイル等の企画・設計・加工・製造・販売



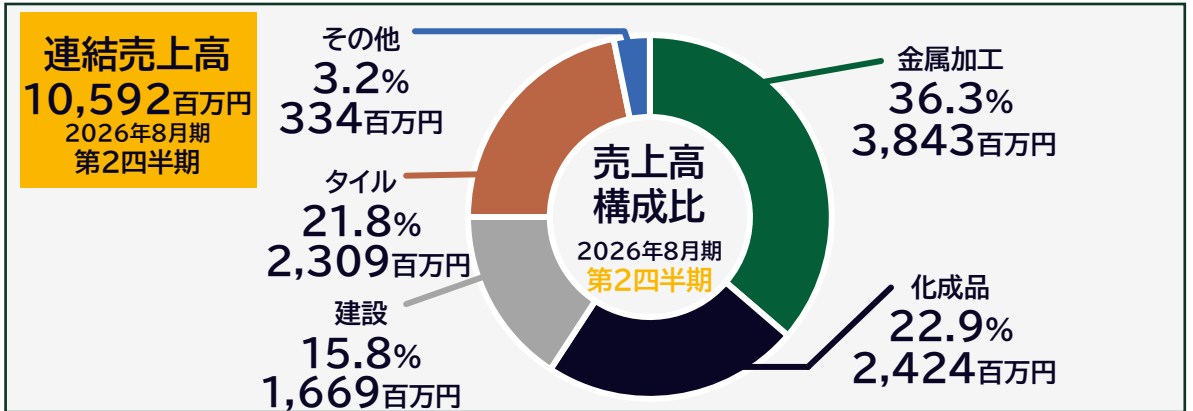
## その他

木材加工・販売、住宅設備機器の企画・EC販売、ものづくりWEBサービス、システム受託開発



太陽光発電事業

東北クリーンエネルギー02合同会社 他34社



# 当社ビジネスモデルの変遷と売上高・EBITDAの推移

ビジネスモデル変遷

- ・福証Q-Board上場とリーマンショック
- ・単一会社単一工場体制

太陽光架台特需

- ・太陽光架台特需一巡
- ・M&A型成長へ路線変更

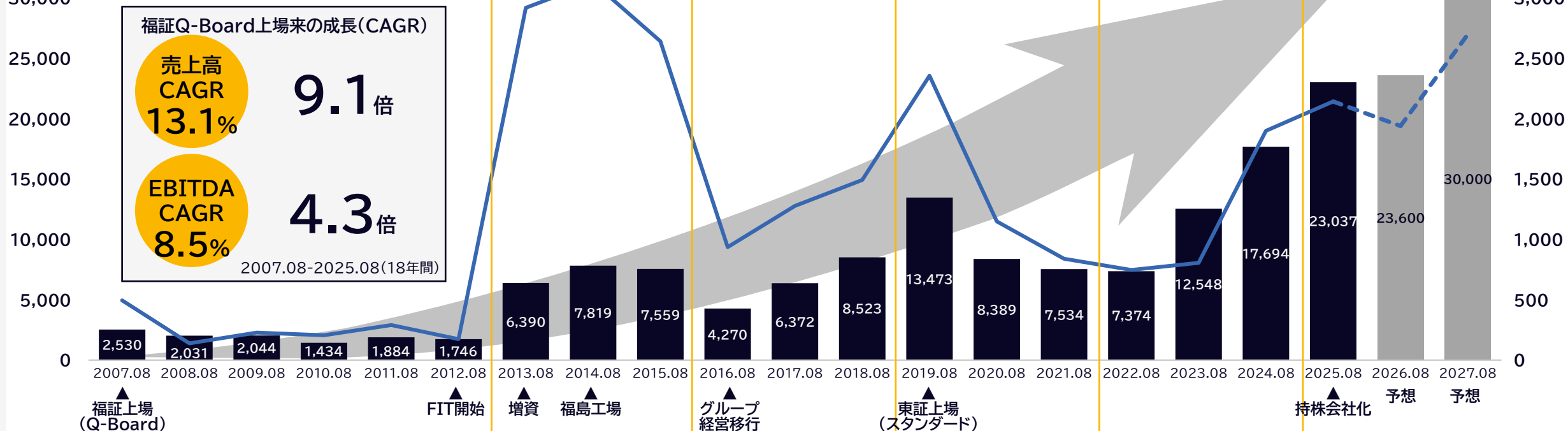
東証スタンダード上場を果たすもコロナ影響でM&A停滞

- ・M&Aに経営資源を傾斜配分
- ・事業領域拡大

- ・持株会社化による支援体制
- ・成長投資始動

(単位:百万円)

■ 売上高 (左軸) — EBITDA (右軸)



M&A社数				+1	+1	+1		+1	+3	+2	+2	計11社
設立社数				+1						+1	+35	計37社
製造拠点数	1			+1	+1	+3			+7	+1	+2	計17拠点
期末従業員数	99				112		278		257		564	695

(2026年2月末時点)

(注)M&Aや設立会社のうち連結子会社化している会社のみを記載しております。非連結子会社であるシキファニシア、日創不動産、穴井工務は含まれておりません。

EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

	売上高	営業利益	EBITDA
<b>業績</b>	<p>10,592百万円</p> <p>前年同期比▲13.1%</p>	<p>570百万円</p> <p>営業利益率5.4%</p> <p>前年同期比▲33.9%</p>	<p>1,067百万円</p> <p>EBITDA率10.1%</p> <p>前年同期比▲12.9%</p>
<b>売上高</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属加工事業では、データセンター関連案件が好調に推移。一方で太陽電池アレイ支持架台及び金属サンドイッチパネルの案件減少。</li> <li>化成品事業では、前年度子会社化した大鳳、泉製作所の業績が寄与。</li> <li>建設事業では、大型案件が集中し工事が大幅に進展した前期の反動。</li> </ul>		
<b>営業利益</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属加工事業では、主に減収による減益と販売管理費が増加。</li> <li>建設事業では、主に減収による減益。</li> </ul>		
<b>EBITDA</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業利益減益、のれん償却額増加により、EBITDAは前期比▲12.9%となった。</li> </ul>		

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

# INDEX

目次

- 01 2026年8月期 第2四半期業績概要
- 02 主なトピックス
- 03 第4次中期経営計画の進捗
- 04 株主還元の基本方針、配当予想
- 05 Appendix

01

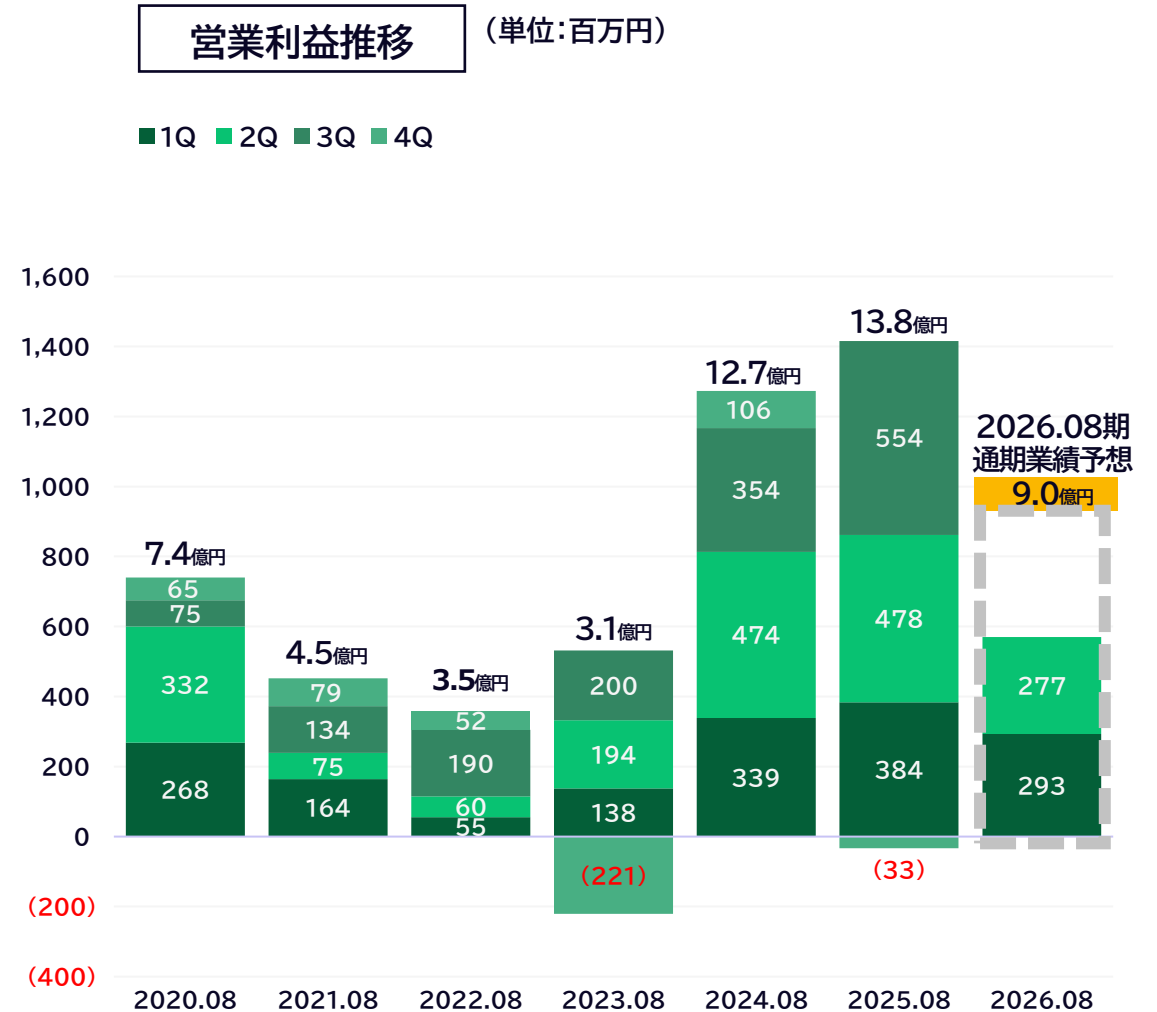
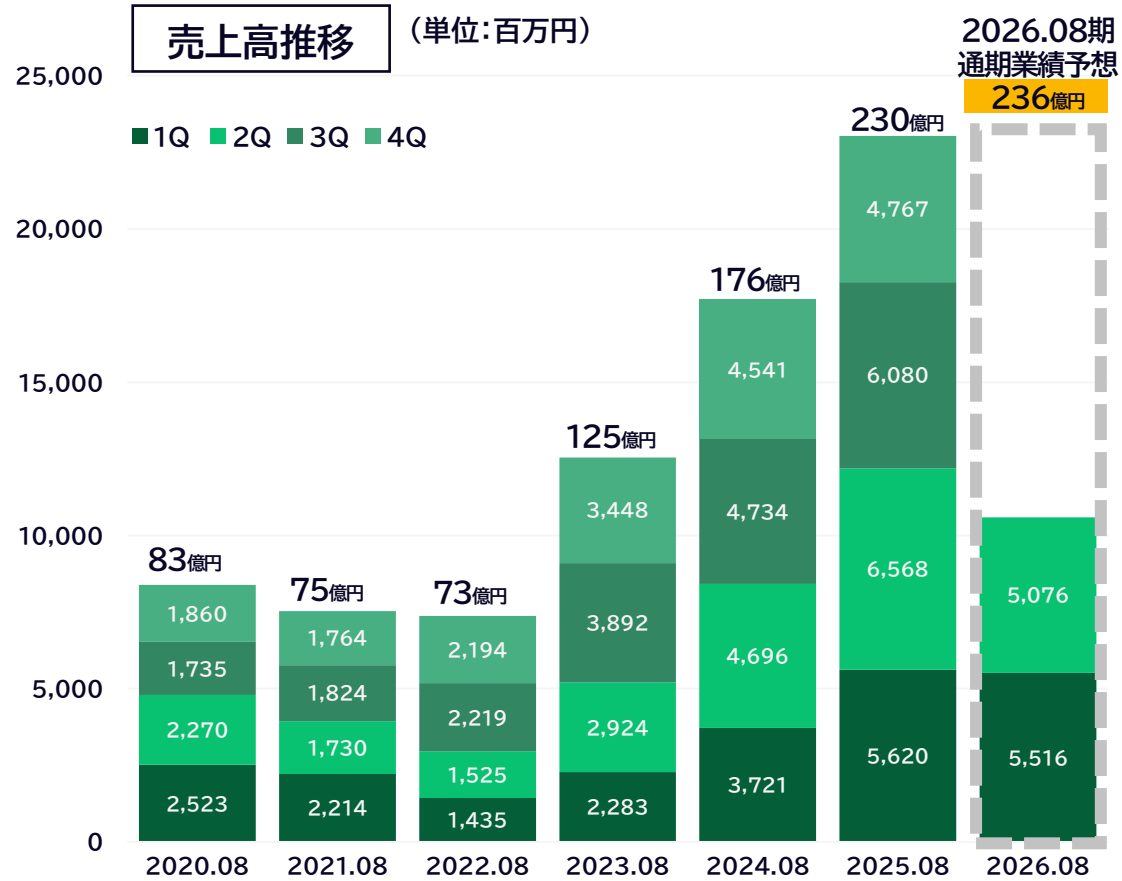
# 2026年8月期 第2四半期業績概要

第2四半期は、金属加工事業においてデータセンター関連案件が好調に推移。化成品事業では、前年度M&Aした2社(大鳳・泉製作所)の業績が期首より寄与。建設事業では、大型工事が集中し工事が大幅に進展した前期の反動があった。これらにより減収減益での推移となった。

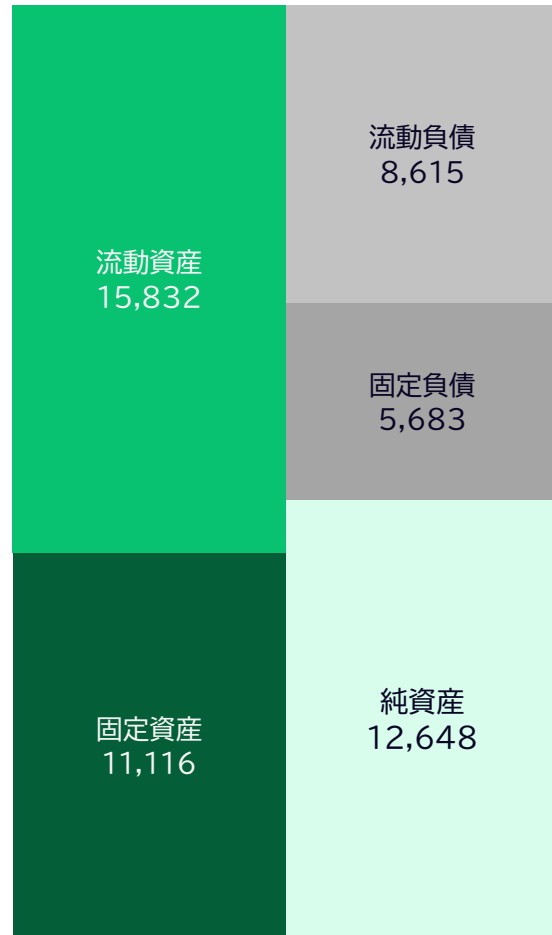
(単位:百万円)

	2025年8月期 通期(実績)	2026年8月期 通期(当初予想)	四半期業績			
			2025年8月期 第2四半期累計	2026年8月期 第2四半期累計	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	23,037	23,600	12,189	10,592	▲1,596	▲13.1%
営業利益	1,383	900	862	570	▲292	▲33.9%
(営業利益率)	(6.0%)	(3.8%)	(7.1%)	(5.4%)	(▲1.7P)	—
経常利益	1,401	890	880	594	▲286	▲32.5%
純利益	917	520	766	247	▲518	▲67.6%
EBITDA <small>(営業利益+減価償却費+のれん償却額)</small>	2,144	1,941	1,225	1,067	▲157	▲12.9%
(EBITDA率)	(9.3%)	(8.2%)	(10.1%)	(10.1%)	(0.0P)	—
受注残	5,589	—	4,672	5,015	+342	+7.3%

第2四半期時点での売上高・営業利益推移は、前年比マイナスでの推移。

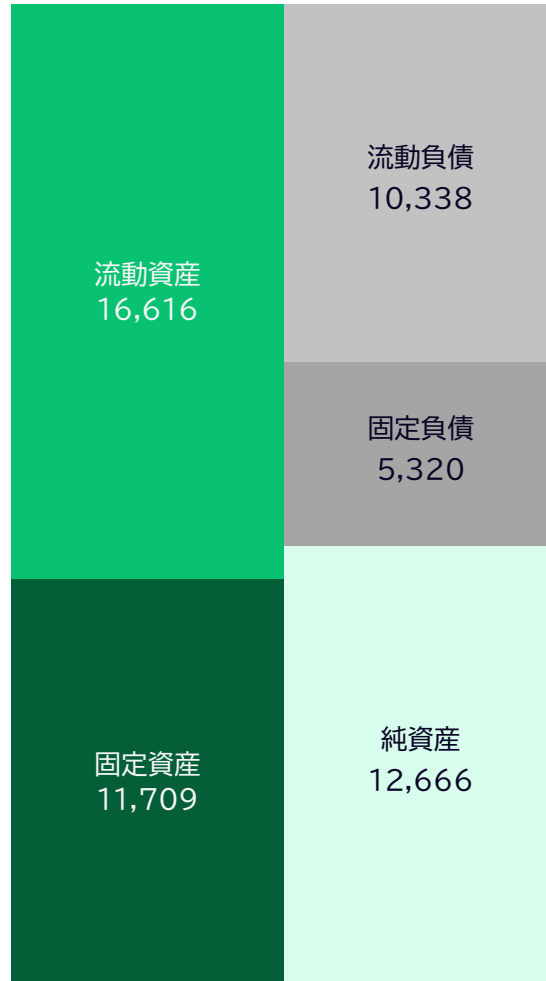


総資産26,948



2025年8月期末

総資産28,326



2026年8月期2Q末

(単位:百万円)

## 流動資産

前期末比+784

現金及び預金+1,352  
受取手形、売掛金及び契約資産▲459  
商品及び製品▲273

## 固定資産

前期末比+593

無形固定資産のその他+867  
有形固定資産▲138、のれん▲143

## 流動負債

前期末比+1,722

支払手形及び買掛金+108、短期借入金+2,050  
1年内返済予定の長期借入金▲192  
未払法人税等▲280

## 固定負債

前期末比▲362

長期借入金▲427

## 純資産

前期末比+17

親会社株主に帰属する中間純利益の計上+247  
剰余金の配当▲255

(単位:百万円)	2025年8月期 第2四半期累計			2026年8月期 第2四半期累計			前年同期比	
			利益率			利益率		
売上高	12,189	(構成比)	—	10,592	(構成比)	—	▲1,596	▲13.1%
金属加工事業	4,229	34.7%	—	3,843	36.3%	—	▲385	▲9.1%
化成品事業	1,121	9.2%	—	2,424	22.9%	—	+1,302	+116.1%
建設事業	3,959	32.5%	—	1,669	15.8%	—	▲2,289	▲57.8%
タイル事業	2,544	20.9%	—	2,309	21.8%	—	▲235	▲9.3%
その他	333	2.7%	—	334	3.2%	—	+1	0.3%
調整額	—	—	—	11	—	—	+11	—
セグメント利益	1,161	(構成比)	—	456	(構成比)	—	—	—
金属加工事業(※)	741	63.9%	17.5%	245	53.9%	6.4%	▲495	▲66.8%
化成品事業	130	11.3%	11.7%	160	35.2%	6.6%	+29	+22.7%
建設事業	278	24.0%	7.0%	147	32.4%	8.8%	▲130	▲47.0%
タイル事業	73	6.3%	2.9%	23	5.2%	1.0%	▲49	▲67.6%
その他	▲63	▲5.5%	▲19.0%	▲121	▲26.6%	▲36.3%	▲58	+91.5%
調整額(※)	▲298	—	—	113	—	—	+412	—
営業利益	862	—	7.1%	570	—	5.4%	▲292	▲33.9%

## 主な変動要因

### 金属加工事業

ワタナベテクノスにおいて、データセンター向け防音筐体案件が好調に推移したが、日創プロニティにおいて、金属サンドイッチパネル・太陽電池アレイ支持架台が減収。

セグメント利益は、上記減収による減益の他、事業持株会社体制から純粋持株会社体制への移行に伴い、今期より経営管理料収入の計上を金属加工事業のセグメント利益から調整額に移行したため減益(※)。

### 化成品事業

前年度M&Aした2社(大鳳・泉製作所)の業績寄与により増収増益。(のれん償却額が94百万円増加)

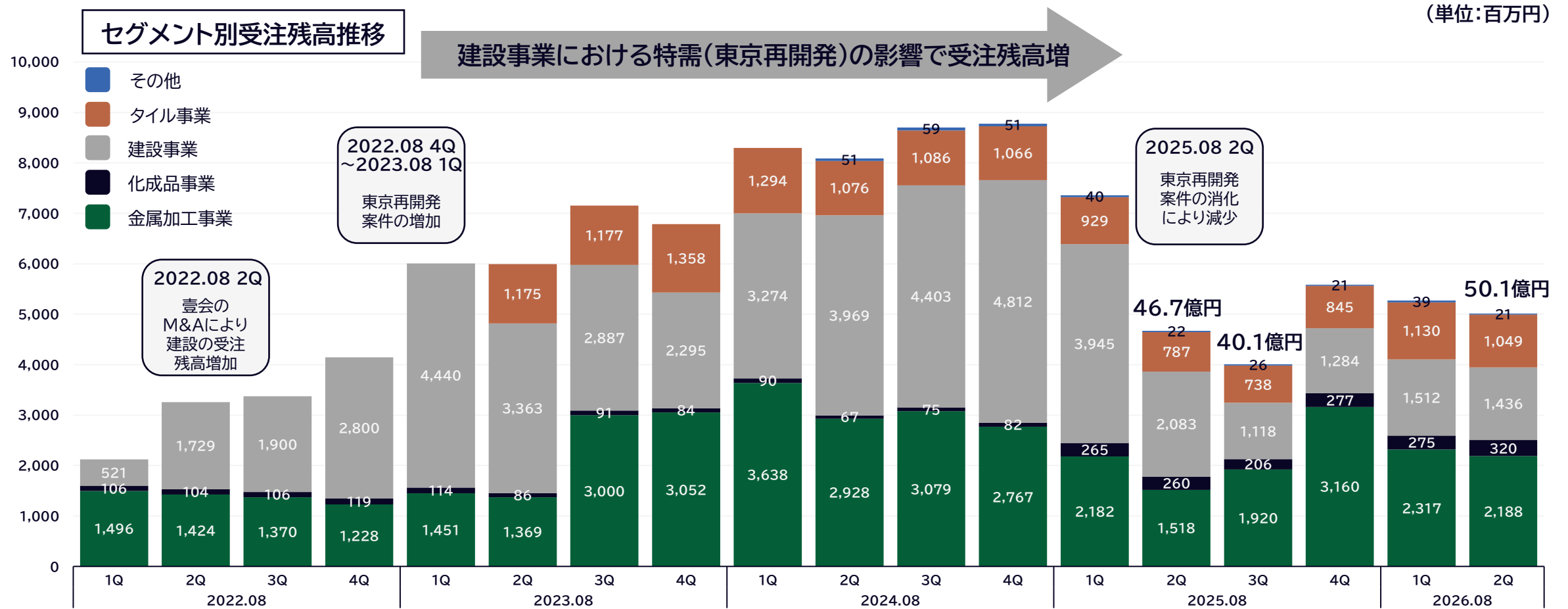
### 建設事業

大型工事が集中し工事が大幅に進展した前期の反動により減収減益。

### タイル事業

住宅需要が全国的に減少している影響を受け、減収減益。

受注残高は、建設事業において特需の東京再開発案件消化が進み減少。平常時の受注残高水準に戻るも、全体としては前3Qに底打ち。



# 02

## 主なトピックス

## 中核企業 株式会社ベルフラッツは首都圏にて展開するマンション分譲開発業者

- ・ 仕入から開発、販売に至るまで**一気通貫**で自社ブランドのマンションを展開。
- ・ 自社で**一級建築士を多く抱えており**、契約後の顧客ニーズにも柔軟に対応できる強みを有する。
- ・ 顧客本位の物件開発・分譲に定評があり、**その土地にマッチした独自の設計やデザイン**を実施。
- ・ 顧客からの評判も高く、**物件の大半を建築完成前に販売完了**するなど、商品力・販売力がある。

👉 創立30年超、**2,632戸**のマンション供給実績(2025年9月時点)

## 展開するマンションブランドとコンセプト

ベルジェンドシリーズ

# BELLEGEND

ベルジェンド(BELLEGEND)は、Belle[美しい-仏語-]とLegend [伝説-英語-]の造語です。人や環境に優しい住まい、素晴らしい思い出を積み重ねることができるマンションを目指して、企画・開発・提供する新マンションシリーズ・ブランドです。

グラスージュシリーズ

# GLASAGE

“五感を呼び覚ますcomfort & luxury”を新機軸コンセプトに、ベルフラッツがお届けするNEWブランド「グラスージュ」コンパクトマンションシリーズ。グラスージュ(GLASAGE)は、GLADSOME(喜んでい様子[英語])とSAGE(伝説[独語])からなる造語。



▲展開中のマンションシリーズ一例(HPより)

## 分譲マンションやリノベーションに建材を織り込む

- マンションブランド・コンセプトにマッチした建材の新規開発や織り込みを通して、より付加価値の高いマンション分譲開発に期待。
- ベルフラッツ社のグループ企業であり、リノベーション事業を展開するビーズネクサス社へも製商品供給面でバックアップ。

ベルフラッツ(マンション分譲開発)



ニッタイ工業(タイル製造・販売)



カナエテ(住宅設備機器販売)



ビーズネクサス(リノベーション)



マルトク(内装木材加工)

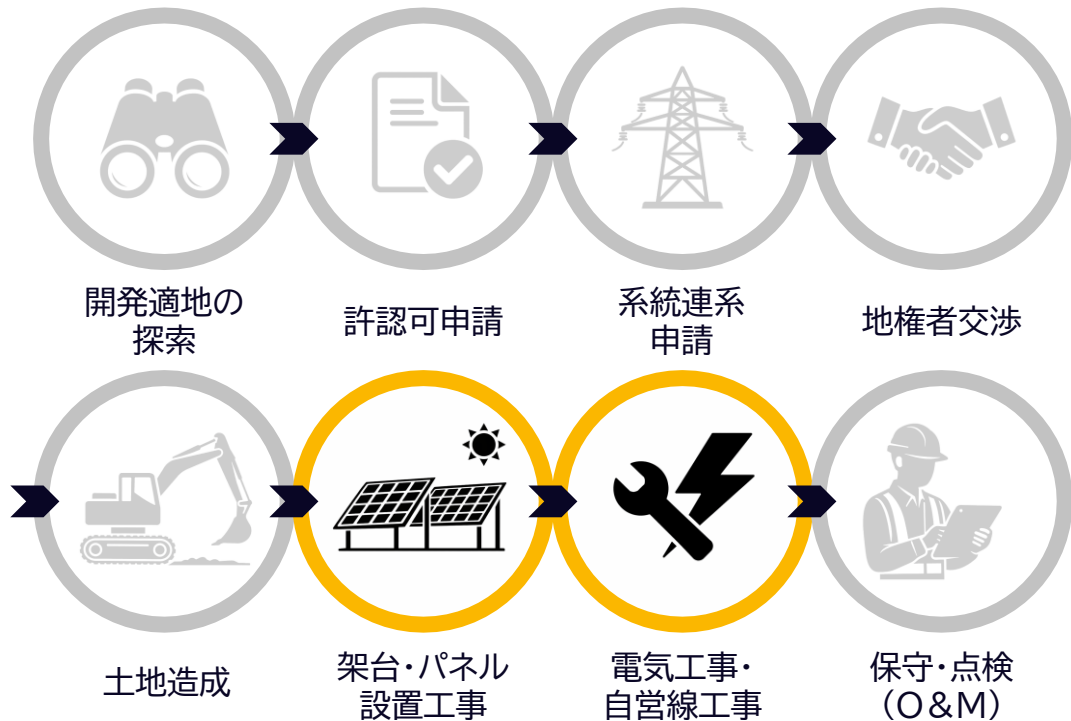


シキファニチア(洋家具製造)

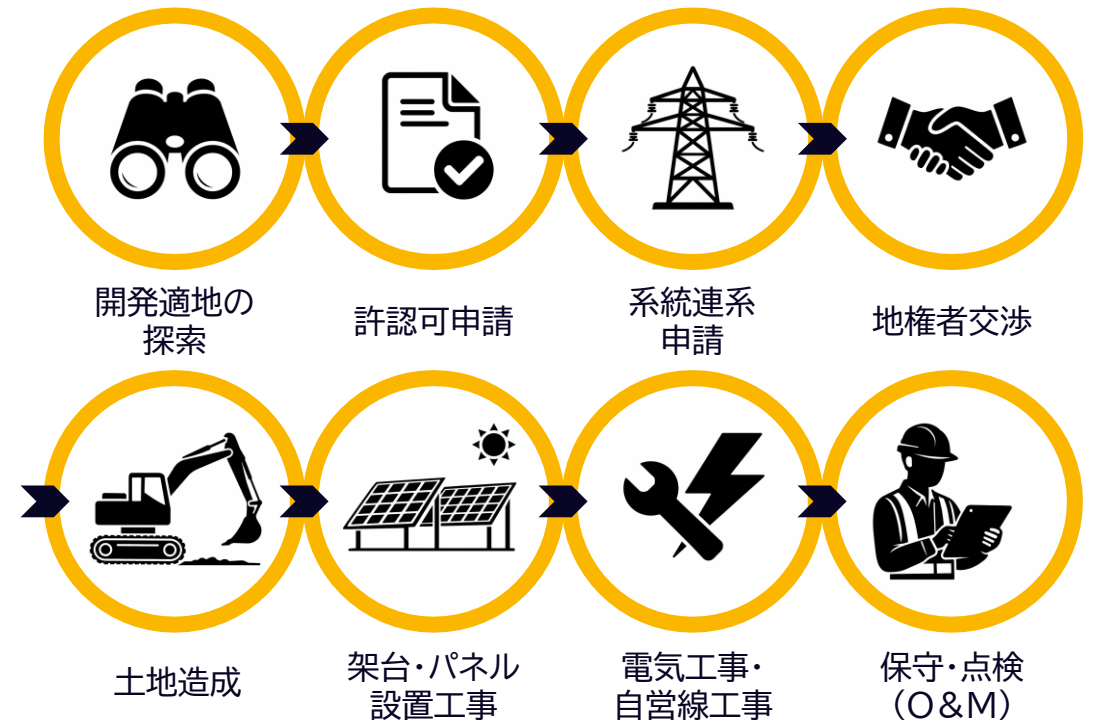


工事請負にとどまらず、再エネを開発する事業へと転換を図ることで、太陽光発電所開発の上流工程を一貫して担い、「開発→建設→O&M」までの連続したバリューチェーン強化により付加価値を高める。  
2026年2月に法人登記を行い、本格的に事業へ着手。(35社設立、87.92MW規模)

## 従来の提供サービス



## 新事業開始後の提供サービス



# 03

## 第4次中期経営計画の進捗

## ① M&A投資(成長ドライバーとして重要視)

- ・当社グループのM&Aが持つ社会的価値と経済的価値の両立
- ・「日創M&Aセブンルール」の明文化
- ・蓄積されたノウハウによるPMIの実行

投資枠  
50億円

## ② 先行投資(中長期的な成長のため)

- ・人財・新規事業・新製品開発への先行投資
- ・設計工程や調達を一部海外へ移転する海外拠点化プロジェクト

投資枠  
10億円

## ③ 持株会社化によるグループ支援体制の拡充

- ・プロフェッショナル人財「七人の侍」によるグループ支援体制の拡充
- ・グループ横断的な営業戦略・製造原価低減・新規事業・新製品開発などの推進
- ・さらなるグループシナジーを追求できる組織体制へ進化

NI  
七人の侍

## ④ 資本コストや株価を意識した経営

- ・当社グループのPBR、ROEといった現状を分析
- ・当社グループが考える目指すべきROE水準の設定
- ・達成するための具体的なアクションプランの実行

ROE  
目標8%

全体(M&A含む)の成長目標  
(CAGR)

売上高  
CAGR  
**19.2%** **1.7倍**

2024.08-2027.08(3年間)

全体(M&A含む)の成長目標  
(CAGR)

EBITDA  
CAGR  
**12.4%** **1.4倍**

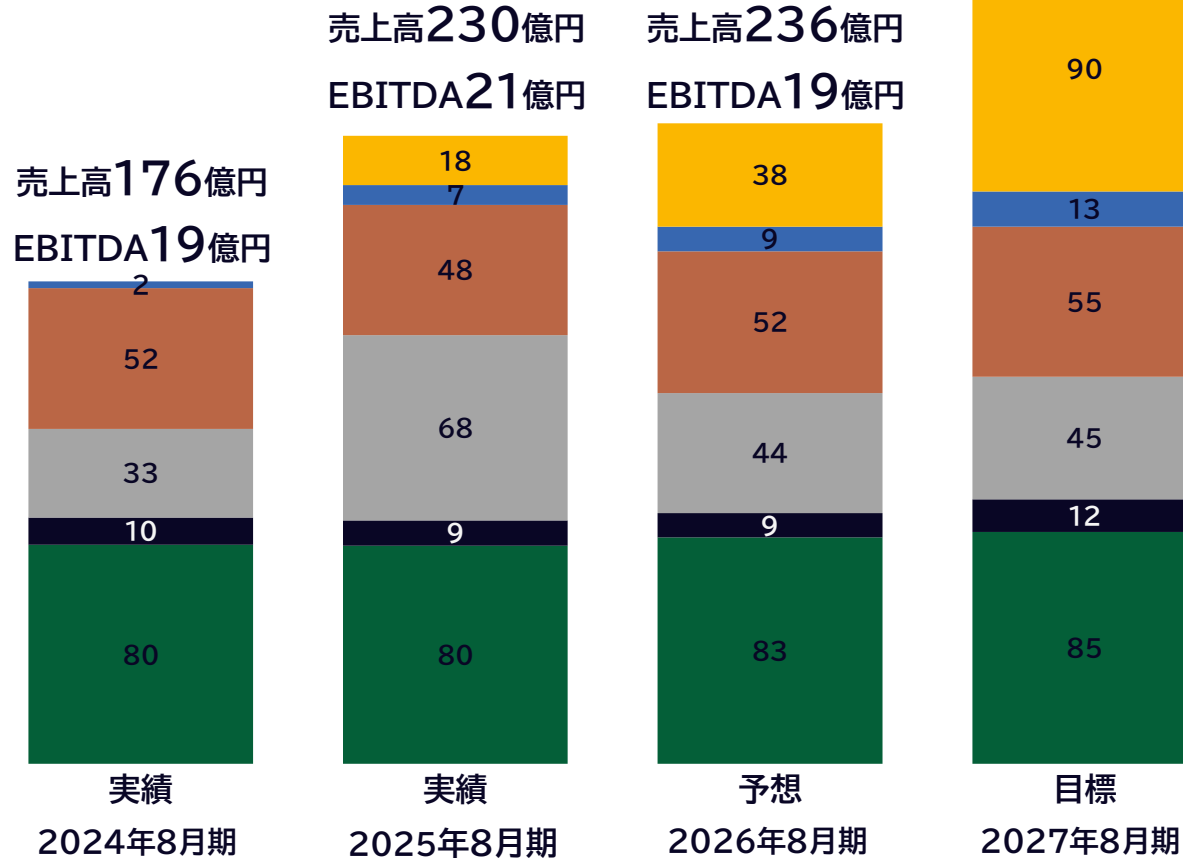
2024.08-2027.08(3年間)

既存事業の成長目標(CAGR)

売上高  
CAGR  
**5.9%** **1.2倍**

2024.08-2027.08(3年間)

- M&A
- その他
- タイル事業
- 建設事業
- 化成品事業
- 金属加工事業



第4次中計目標

売上高 **300**億円  
EBITDA **27**億円

2027年8月期  
目標(連結)

売上高  
**300**億円  
EBITDA  
**27**億円

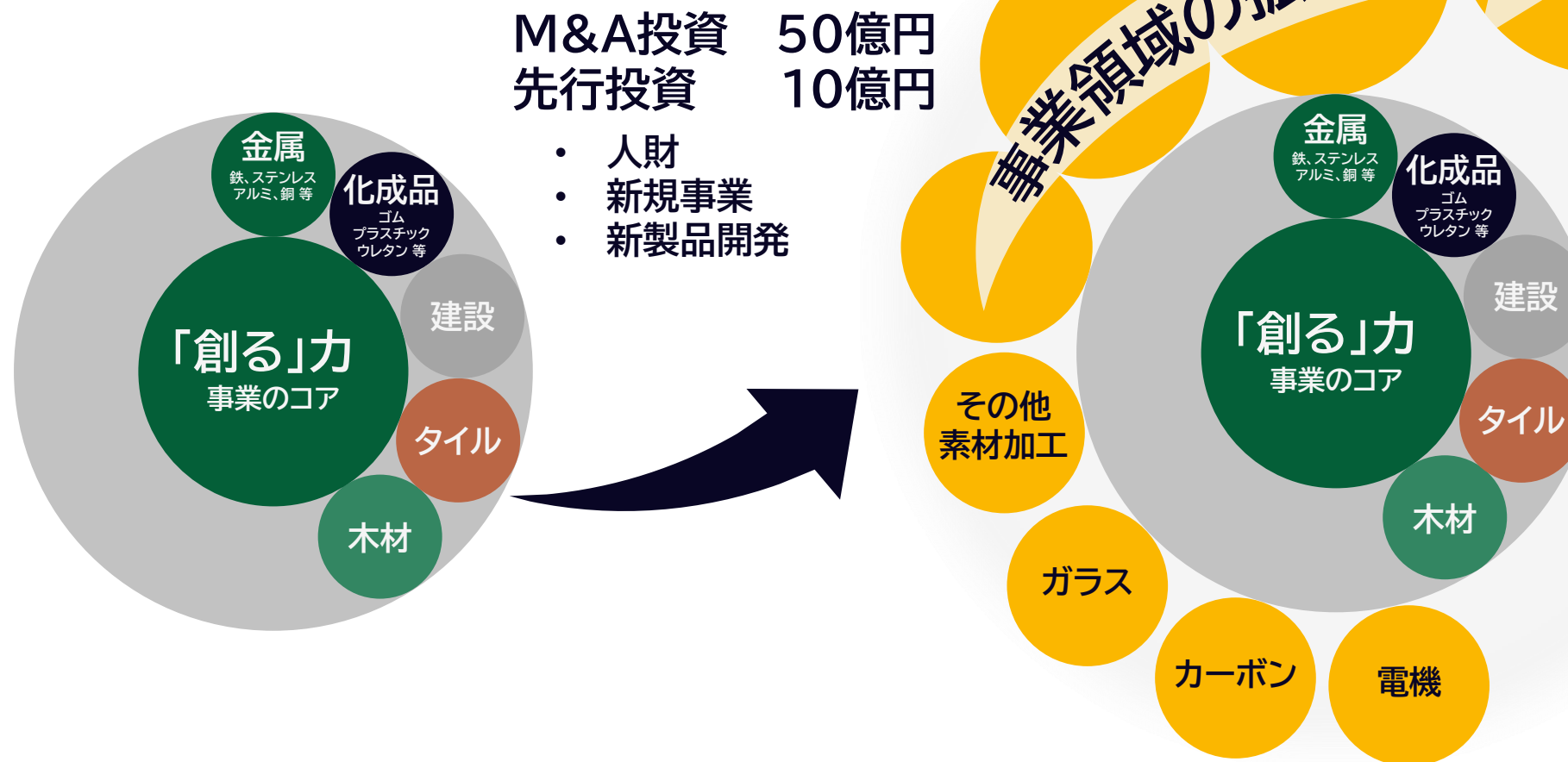
3ヶ年のM&A  
投資枠

**50**億円  
進捗 **27.5**億円(2025年8月時点)

先行投資枠  
(人財・新規事業・新製品開発)

**10**億円  
進捗 **7.2**億円(2025年8月時点)

事業のコアである「創る」力を軸に、M&A・人財・新規事業・新製品開発へ積極的に投資しながら、様々な素材、加工技術を有する製造業や、その周辺事業を中心に事業領域を拡大し、「創る」力で未来に挑む企業グループを目指す。



M&Aによる会社数の増加に伴い、グループで取り組むべき課題が増加。持株会社体制への移行に伴い、持株会社から各事業会社を多面的かつグループ横断的に支援する体制を強化する。グループ経営を牽引するプロフェッショナル人財として「七人の侍」の採用と育成を推進中。

## NI 七人の侍



### M&A

M&A案件の検討、クロージ  
ング、PMIを推進・統括する  
プロフェッショナル人財

2025年2月採用済

### 営業戦略

グループ全体の営業を推進・  
統括するプロフェッショナル  
人財

2024年8月採用済

### 製造原価低減

グループ全体の製造効率化、  
内製化支援、原価低減、品質  
改善などを推進・統括するプ  
ロフェッショナル人財

### 新規事業

新規事業を推進・統括するプ  
ロフェッショナル人財

### 新製品開発

グループ資源を活用して新  
しい製品を企画・開発するプ  
ロフェッショナル人財

2025年6月内部昇格

### 経営管理

グループ全体の財務・会計をは  
じめとする計数管理を統括す  
るプロフェッショナル人財

2026年2月採用済

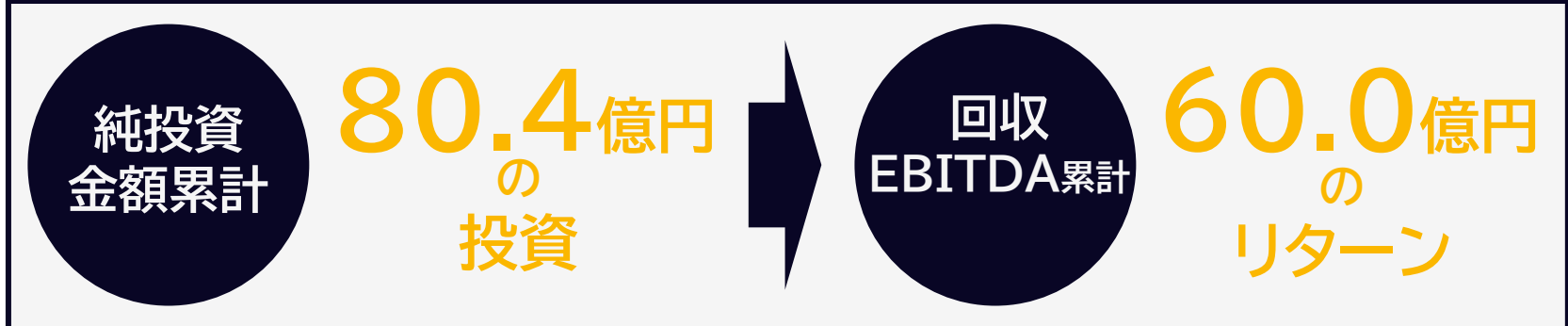
### IT戦略

グループ全体のIT戦略を立  
案し効率化を推進・統括する  
プロフェッショナル人財

## 累計14社のトラックレコード(2025年8月末時点)



### 2016年8月期~2025年8月期(10年間)の純投資金額累計と回収の状況



※2024年6月 日創エンジニアリングと合併

・純投資金額 = 株式譲渡対価 + M&A手数料等 - BS連結時のネットキャッシュ(ネットデット)  
 ・回収EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 本社への経営管理料支払

これまで手薄であったグループ会社をまたぐシナジーの創出・加速に向けて、グループ会社を顧客・製品分野に基づき3グループに分け分科会活動を10月に開始。PMI・ポストPMIの一環としても今後推進強化予定。

## 分科会活動の実践

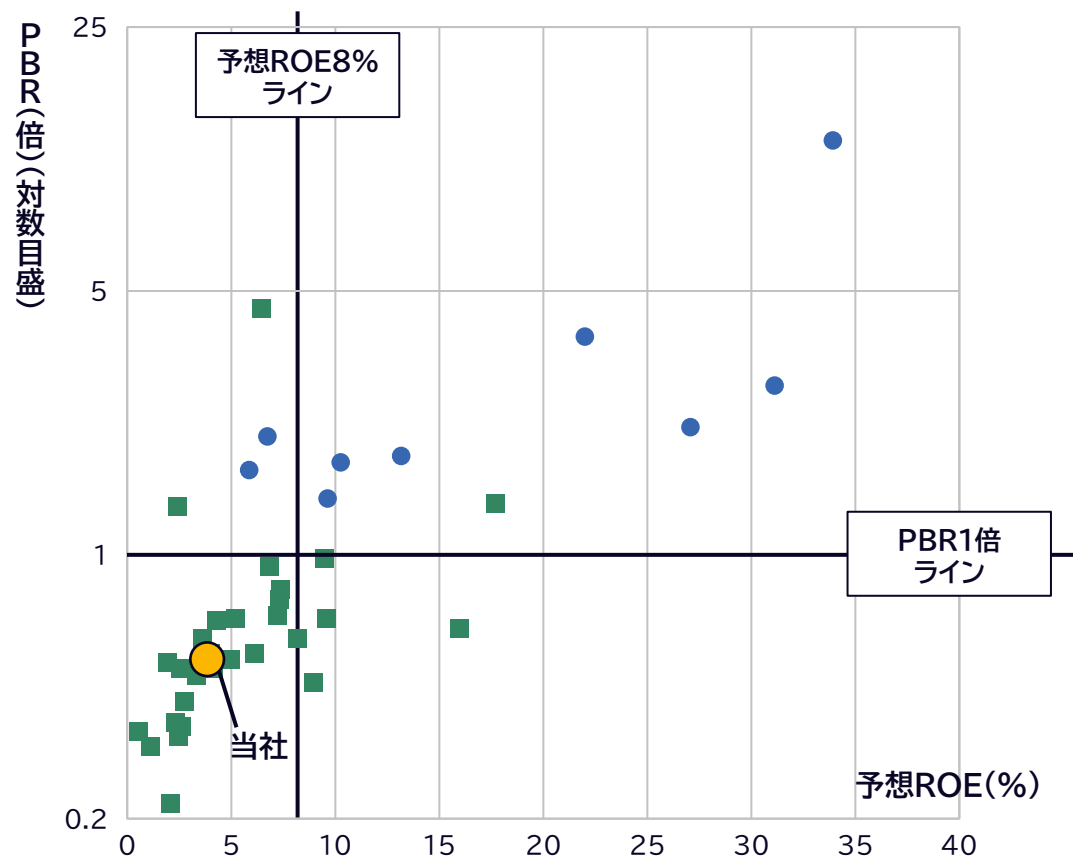


## 分科会アンケートより参加メンバーの声抜粋

- ・各社の事業内容や強み・弱みを共有し、日創グループ全体で理解が深まった。
- ・シナジーの可能性として、人脈による連携と技術・ノウハウ共有の2点が示された。
- ・今後は各社の訪問や情報交換を通じ、より多様な組み合わせで、協業の展開が期待される。
- ・各社キーパーソンが集まり、情報共有と意見交換を通じてグループとしての協力意識やシナジー創出の期待が高まった。
- ・顧客・名簿情報の共有や今後の方針が明確化し、具体的な連携へ一歩進んだ。
- ・課題共有や人的交流により、関係性の強化や今後のクロスセル推進に向けた土台づくりができた。

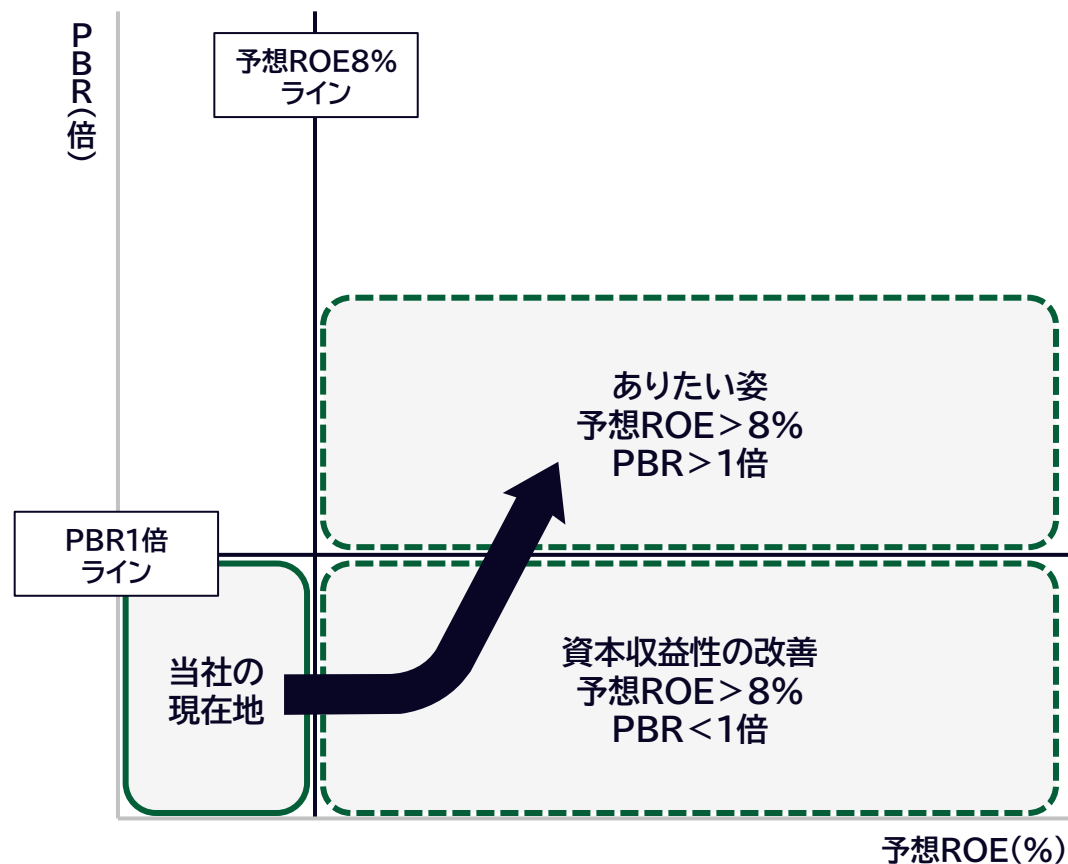
当社株式は、東証33業種分類上「金属製品」にカテゴリズされており、同業種分類(時価総額約50~200億円)企業と予想ROE、PBRを比較分析した。当社と予想ROE、PBR水準の近い企業が多い状況。

一方で、M&A型成長企業との比較では、予想ROE8%超、PBR1倍超となっている企業が多い。PBR1倍の達成に向けて、まずは資本収益性の改善を意識しつつ、実践していく方針。



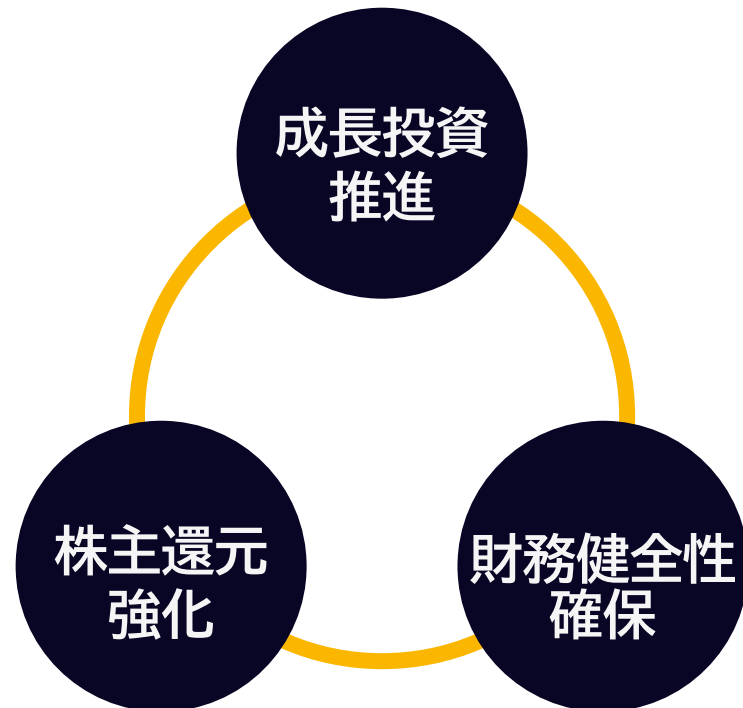
● M&A型成長企業 ■ 「金属製品」企業 (時価総額50~200億円)

(2026年4月10日時点PBR・予想ROEで算定、一部当期純利益予想を開示していない会社は直近実績ROEを用いている)



## 株主還元の基本方針、配当予想

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識すると共に、**持続的な成長と企業価値向上**を図るための資金を成長投資に振り向けていくことに力点を置きながら、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行うことを基本方針としております。



## 成長投資推進

- ・人財投資
- ・M&A投資
- ・設備投資
- ・新規事業・新製品開発

## 財務健全性確保

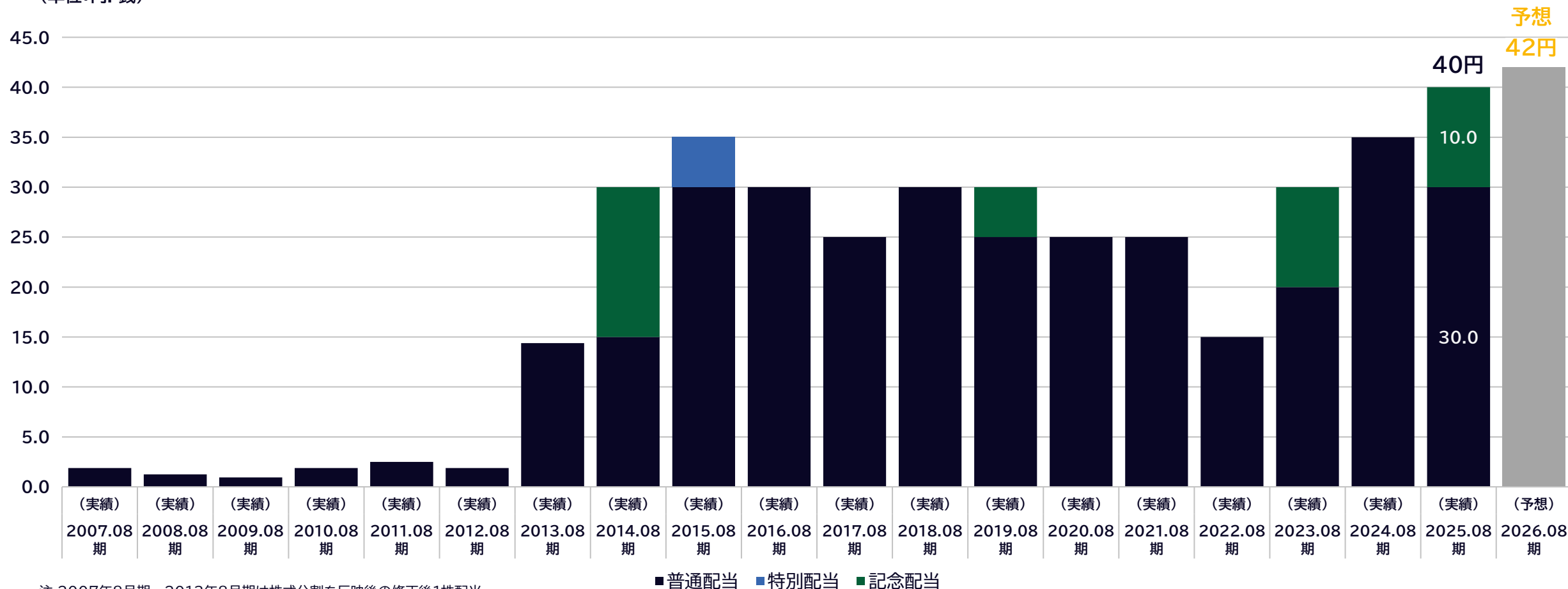
- ・借入金や自己資本のバランスを重視

## 株主還元強化

- ・業績を勘案しつつ配当金を継続的に充実
- ・時機を見ながら自己株式取得の実施

2025年8月期は、6月に持株会社体制に移行したこと記念し記念配当10円を加え1株当たり配当40円実績。  
 2026年8月期は、2円増配し1株当たり配当42円予想。

(単位:円. 銭)



注.2007年8月期～2013年8月期は株式分割を反映後の修正後1株配当

05

# Appendix

## グループ経営理念

造創・日

## グループビジョン

「創る」力で未来に挑む企業グループ

現在の  
ビジネス



ビジネスサイクル  
「日創BOOOOST!」

## 目指す未来は

「創る」力で  
未来に挑み  
日本のものづくり  
企業が輝く未来

## 第4次中計の対処すべき課題

- 1.M&A投資50億円
- 2.先行投資10億円
- 3.持株会社化によるグループ支援体制の拡充
- 4.資本コストや株価を意識した経営

## 日創グループのビジネスサイクル「日創BOOOOST!」



### 「創る」力を還元する

- ・生み出した付加価値をステークホルダーへ還元する
- ・事業で獲得したFCF\*<sub>1</sub>を再投資に振り向ける
- ・資本コストと株価を意識した経営の推進

\*1:フリーキャッシュフローのこと



### 「創る」力をつなぐ

- ・各社の力を連携し、無駄なく活かす
- ・顧客基盤の共有
- ・各社のリソースを結集し、新製品開発、新規事業を実現
- ・設計工程や調達を一部海外へ移転する海外拠点化プロジェクト



### 「創る」力を広げる

- ・M&Aへの戦略的投資
- ・設備投資



### 「創る」力を鍛える

- ・人財への投資
- ・製造原価の削減
- ・PMI\*<sub>2</sub>により事業基盤を鍛える
- ・ハード以外のソフト力を強化(品質、技術、デザイン、DX)
- ・成長が期待される既存事業強化(再エネ、パネル、DC\*<sub>3</sub>向け)

\*2: M&A後の経営統合プロセスのこと

\*3: データセンターの略

## 金属加工事業セグメント

### 日創プロニティ



### 金属加工業

建築建材・機械装置・土木・環境エネルギー等、様々な業界に向けて、コイル鋼材から一貫通貫で金属加工を行う会社。

### 綾目精機



### 金属精密切削加工業

印刷機、フィルム製造機、芝刈り機、ポンプ、エスカレーターなどに採用される精密部品を製造する会社。

### ダイリツ



### 空調関連機器製造業

ダンパーと呼ばれる空調設備に取り付けられる機器を製造する会社。特殊品オーダーに強み。

### ワタナベテクノス



### 防音・消音設備製造業

ビルやデータセンターなどに設置される非常用発電機を囲うための防音・消音筐体を製造する会社。技術力、大型筐体製作力に強み。

### 天神製作所



### 畜産排泄物処理設備製造業

大型畜産農場等で導入される畜産排泄物の堆肥化プラント製造を手掛ける会社。ニッチな市場で顧客から信頼厚い。

## 建設事業セグメント

### 日創エンジニアリング



### 建設業

内外装パネル工事、太陽光発電設備工事等を中心とした建設工事業。

## タイル事業セグメント

### ニツタイ工業



### タイル製品製造業

内外装に用いるタイルを製造販売する会社。焼物として味わい深い湿式タイルの国内トップメーカーで、特殊品オーダーに強み。

## その他

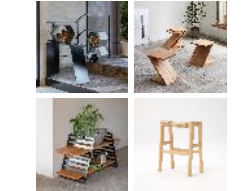
### マルトク



### 木材加工業

内外装木材の加工や卸売のほか、ミリ単位で木製天板をオーダーカットできるECサイトマルトクショップを運営する会社。独自の販売力を有する。

### カナエテ



### ものづくりWEBサービス

良いプロダクトを有しているものづくり企業の製品を集め販売するECサイトKanaeteを運営する会社。住宅設備機器のEC販売、システム受託開発も行う。

## 化成品事業セグメント

### 吾孺ゴム工業



### ゴム製品製造業

原料ゴムからの一貫生産を行うゴムメーカーとして、土木製品、一般工業製品、建築製品、車両用品、道路用品を加工・製造する会社。

### 大鳳・フォームテックス



### 化成品販売業

自動車、家電製品、住宅設備、土木などの各産業分野に向けてウレタン素材のパッキンやシール材を販売する会社。

### 泉製作所



### 工業用プラスチック製品製造業

自動車業界向けを中心としたプラスチック製品を射出成形する会社。徹底した品質管理体制により顧客からの信頼厚い。

東北クリーンエネルギー02合同会社他34社  
太陽光発電事業を行う会社。



## CONTACT

お問い合わせ

日創グループ株式会社  
グループ経営戦略本部 IR・SR部

☎ 092-555-2825

🌐 <https://www.nissogroup.com>

✉ [ir@nissogroup.com](mailto:ir@nissogroup.com)

### ■ ディスクレームー

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。